

市長記者会見記録

日時：2024年3月4日（月）14時00分～14時18分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：みなさまから募集した「かわさき いろいろ 5・7・5」の絵本が完成しました！ ～川崎市ブランドメッセージ デジタル絵本 第2弾～

<内容>

【議題】

みなさまから募集した「かわさき いろいろ 5・7・5」の絵本が完成しました！ ～川崎市ブランドメッセージ デジタル絵本 第2弾～

【司会】 ただいまから市長記者会見を始めます。本日の議題は「みなさまから募集した『かわさき いろいろ 5・7・5』の絵本が完成しました！」となっております。

初めに、今回の絵本の概要について、福田市長から御説明いたします。市長、よろしく申し上げます。

【市長】 それでは、皆様から募集した「かわさき いろいろ 5・7・5」の絵本の完成について、私から説明いたします。

昨年、川崎ブランドメッセージ「Colors, Future! いろいろって、未来。」が表す本市の価値である「多様性」をより多くの方に共感を持って受け止めてもらい、市制100周年を契機に、さらに川崎を好きになってもらうため、「かわさきのいろいろ」をテーマとして、川崎市ゆかりの著名人等8人が詠んだ5・7・5の言葉に、イラストを添えた第1弾のデジタル絵本を制作しまして、ウェブ上で7月7日に公開をいたしました。

その公開とともに、川崎のよいところ、好きなところを5・7・5の言葉で詠むことで、改めて川崎を知り、さらに好きになってもらうため、「次の100年に向けて」をテーマに新しい作品を広く募集しましたところ、スポーツ、音楽、自然、生活、川崎のいろいろな魅力を詠んだ6,000作品を超える多くの応募がございました。

このたび、応募作品の中から8作品を選考し、第2弾となるデジタル絵本を作成いたしました。一つ一つの作品が川崎を知る方々に「川崎ってそうだよな」と共感していただける、このまちならではの魅力にあふれた絵本となりました。

本日は、選ばれた8作品の中から2名の作者の方にお越しいただいておりますので、私から御紹介をさせていただきます。

初めに、岩本貴子さんです。

「京浜の 夜空かがやく 工場灯」

今まさに川崎の魅力として人気スポットである、工場夜景の美しさを5・7・5に詠んでいただきました。

続いて、石橋榮稔さんです。

「のぞいたら かわさきまるで まんげきょう」

ブランドメッセージの表す、川崎というまちの価値である多様性を5・7・5に詠んでいただきました。

どちらも川崎の魅力を表した句となっております、すてきな句を詠んでいただいたことに改めて感謝申し上げたいと思います。

このほかにも6作品を収録しており、皆様の川崎への思いによって絵本を完成することができましたことに、改めてお礼を申し上げたいと思います。

【司会】 市長、ありがとうございました。

続きまして、お二人に市長から絵本の贈呈をお願いいたします。

まず初めに、岩本様、前へどうぞ。

【市長】 どうもありがとうございました。

(絵本贈呈)

【司会】 お写真、よろしいでしょうか。ありがとうございました。岩本様、お席にお戻りください。

続きまして、石橋様、前へお願いいたします。

【市長】 ありがとうございました。

(絵本贈呈)

【司会】 ありがとうございました。石橋様、お席にお戻りください。

岩本様、石橋様、ありがとうございます。

続きまして、イラストレーターのナカオテッペイ様について、市長から御紹介をお願いいたします。

【市長】 ナカオテッペイさんは川崎市在住のイラストレーターで、アウトドア系マガジン等のカバーイラストや、書籍、広告、テレビ、ウェブなどで御活躍中です。

今回選ばれた8作品に合わせ、より川崎の魅力が伝わるような、思わずクスッと笑顔になるイラストを描いてくださいました。絵本を開くたびに新たな気づきを感じていただけるものとなっております。

イラスト制作に御尽力いただきましたことにお礼を申し上げたいと思います。あり

がとうございました。

【司会】 市長、ありがとうございました。

続きまして、イラストレーターのナカオ様から御挨拶をお願いいたします。

【ナカオ様】 イラストレーターのナカオです。

今回、「かわさき いろいろ 5・7・5」を通して、改めて自分が住んでいる川崎というまちのよさと多様性があることを知りまして、それで、作者の方、皆さんがいろいろ考えられたことをイラストにするのに結構苦勞したんですけども、何とか自分らしさ、自分の感性でイラストとして表せたかなというところで、大変楽しい仕事をさせていただきました。ありがとうございました。

【司会】 ナカオ様、ありがとうございました。御着席ください。

最後に、市長から一言お願いいたします。

【市長】 絵本に収録した8作品以外の作品については、市のホームページで掲載するほか、SNSなどで発信する予定となっております。市制100周年を契機に「かわさき いろいろ 5・7・5」を、改めて川崎の好きなところを共有するツールとして活用して、ブランドメッセージの共感を喚起してまいります。

私からの説明は以上です。

【司会】 市長、ありがとうございました。

それでは、質疑応答に入ります。なお、市政一般に関する質疑については、この後記念写真が終了し次第、改めてお受けいたします。

それでは、進行につきましては、幹事社各社、よろしくをお願いいたします。

【東京（幹事社）】 幹事社の東京新聞です。今日はよろしくお願いいたします。

まず、市長にお伺いしたいのですが、今回6,000作以上応募があったということで、今回選ばれた8作品は特にそうなのかなと思うんですけども、作品をお読みになっての率直な感想などをお聞かせいただけますでしょうか。

【市長】 実によく川崎の魅力を表現していただいたなと思っています。川崎の魅力を一言で表すのって物すごく難しいと、常日頃から私は考えているんですけども、5・7・5で詠んでみると、こんなにもあっさり、すっきり、ピンとくるような言葉が、皆さんよく出てくるものだと思って感激しましたし、6,000作以上の応募が来たことに、そもそもすごく、想定外の喜びというか、と思いますし、皆様が改めて川崎の魅力を知っていただく大きなきっかけになったのではないかなと思っています。

【東京（幹事社）】 ありがとうございます。

あと、岩本様、石橋様それぞれにちょっとお伺いしたいんですけども、まず石橋

様の「榮」という字なんですけれども、こちら旧字になるかと思うんですが、簡単なほうに新聞などの表記で変えさせていただくことは可能かどうかということをも確認させていただけますでしょうか。

【石橋様】 ありがとうございます。石橋です。

簡単なほうの漢字でも大丈夫です。

【東京（幹事社）】 ありがとうございます。

【朝日】 栄光の「榮」でよろしいですか。

【石橋様】 はい、栄光の「榮」になります。

【朝日】 「栄える」。

【石橋様】 「栄える」ですね、はい。

【東京（幹事社）】 あと、岩本様、関西から転入ということなんです、具体的な県名というのは出すことって。

【岩本様】 大阪のほうから……。

【東京（幹事社）】 大阪府。

【岩本様】 10年前に幸区のほうに引っ越してきました。

【東京（幹事社）】 あと、ごめんなさい、ナカオ様、現在48歳、区名については出しづらいですか。

【ナカオ様】 区ですか。

【東京（幹事社）】 はい。

【ナカオ様】 大丈夫です。

【東京（幹事社）】 どちらの区になりますでしょうか。

【ナカオ様】 中原区です。

【東京（幹事社）】 ありがとうございます。

岩本様、石橋様、それぞれ今回、御自身が詠まれた句が選ばれたということに対して、どのように受け止めていらっしゃいますでしょうか。こちらでも作品に込めた思いは書かれてはいるんですけれども。

【岩本様】 正直びっくりしました。

【石橋様】 同じく、正直びっくりしたんですけれども、すごい、素直にうれしかったです。ありがとうございました。

【東京（幹事社）】 岩本様の作品、工場夜景について詠まれているかと思うんですけれども、例えば工場夜景のツアーなどに参加されたのか、それともたまたま夜、近くを車で通りかかってみたいな感じですか。

【岩本様】　そうです。

【東京（幹事社）】　車で通りかかられた。

【岩本様】　海ほたるに行くときに使う道でよく見ております。

【東京（幹事社）】　あと、石橋様の作品、中原区の御出身で川崎区に現在お住まいということで、それぞれ個性の違う、区をよく御存じの方ならではの作品なのかなと思うんですけども、そこら辺を込められたというふうに——ごめんなさい、勝手に言うてしまって申し訳ないんですけども——ということでもよろしいでしょうか。

【石橋様】　そうですね。川崎、いろんなところ、魅力が多岐にわたってあったので、そこを「まんげきょう」という言葉で表現いたしました。

【東京（幹事社）】　ありがとうございます。

【共同（幹事社）】　幹事社の共同通信です。

このたび御受賞、おめでとうございます。岩本様と石橋様にお伺いしたいんですが、まず、応募しようと思ったきっかけとか思いがあれば、教えていただけますか。

【岩本様】　新庁舎の見学に訪れた際にお声かけしていただいて、即席でつくりました。

【石橋様】　私も同じく新庁舎の見学会に来た際に、帰り際にこちらの御案内がありましたので書きました。

【共同（幹事社）】　追加でお伺いしますが、常日頃から5・7・5で何か考えたり、そういう習慣というか趣味とかがあったりされるんですか。

【岩本様】　いえ、全くなくて……。

【共同（幹事社）】　すぐ思いつかれた。

【岩本様】　どちらかという苦手なほうでしたけど、本当に、いつも工場の夜景がきれいなので、感動したので、思わずこれを書きました。

【石橋様】　ふだん、本当に全く5・7・5とかは全然書かないんですけども、改めて川崎について考える、いいきっかけになりました。

【共同（幹事社）】　ありがとうございました。

各社さん、お願いします。

【朝日】　朝日新聞です。

すみません、細かい事務的な確認なんですけれども、お三方、3月中に年齢が変わるとかという御事情はございますか。大丈夫ですか。ナカオさんも48のままで。

【ナカオ様】　誕生日が4月なんですけれども、それで年齢は変わります。

【朝日】　7月に誕生日が来る……。

【ナカオ様】 4月。

【朝日】 現在は48で。

【ナカオ様】 はい。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問いかがでしょうか。

それでは、写真撮影に移らせていただきます。準備をいたしますので、もうしばらくお待ちください。

(写真撮影)

【市政一般】

《ピンクシャツデーについて》

【司会】 それでは、続きまして市政一般に関する質疑応答に入らせていただきます。幹事社各社の皆様、引き続きよろしくお願ひいたします。

【東京（幹事社）】 幹事社、東京新聞です。改めてよろしくお願ひいたします。

【市長】 お願いします。

【東京（幹事社）】 先日、ピンクシャツデーということで、議会で皆さんピンクのものを身につけられて、市長もピンクのネクタイをお召しになっていたと思うんですけども、そんなに別に、市長のネクタイ、今まで注目してなかったんですけども、若干ピンクで、割と新鮮な印象はあったんですけども、市長御自身、今回の取組をどのように受け止められたかということと、川崎市、以前にいじめ自殺もありましたし、多摩川の事件などもありました。改めて、この1日だけのことではなくて、今後、川崎市として取組を続けていく決意を改めてお聞かせいただけますでしょうか。

【市長】 何となく議場にいる人たち、みんな何らかの形で意思を表示するという、このこと自体にすごく意味のあるものだなと感じました。ただ、今おっしゃっていただいたように、その日1日だけということではなくて、その思いをずっと続けていこうと、そういう思いでそれぞれの仕事だとか生活をしていこうということが、皆さん賛同していただいているということに、ある意味力強さというか、心強さを感じましたし、そういった精神を持ち続けていきたいと思っています。

【東京（幹事社）】 ありがとうございます。

【共同（幹事社）】 各社さん、お願ひいたします。

《ふるさと納税返礼品の電子商品券導入について》

【読売】 読売新聞です。

この間、市議会のほうで、ふるさと納税の話なんですけれども、電子商品券の導入

というのを示されたと思うんですけども、市長はこれまで、稼げる返礼品を考えていくと何回かおっしゃられていて、今回の電子商品券で、具体的にどの程度稼げる見込みというのと、新たに導入することで、川崎市にどういう効果があるのかというのを、お考えをいただければと思います。

【市長】 今回、現地決済型ということなので、非常に手軽にという形にできるのかなと思います。ただ、ホテルだとか、そういった宿泊から始める、ゴルフ場から始めるということですけども、こういったメニューが多くなってこない、なかなか増えていかないというのは過去の事例でも明らかなので、どれだけメニューを増やしていくかということになっていくのではないかなと思います。

ちょっと、これまでも申し上げているとおり、ふるさと納税の趣旨からどうなのかということをおもいつつも、もう、やれることは全部やっていかないと駄目だという思いでの1つの手法と考えておりますので、とにかく取り戻すという思いで、これからも様々なメニュー開発をしていきたいと思っています。

【共同（幹事社）】 具体的に、何か導入のめどみたいなものは、現時点で……。

【市長】 正直、金額のめどというのは、今回予算でお示ししているとおりでありますが、思いとしてはそれをしっかり超えていきたいという思いです。

【共同（幹事社）】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問いかがでしょうか。

それでは、こちらで本日の記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当